

## 地震発生

### 地震発生前＜予防対策＞

**避難経路の確認**  
ガイドブックを見ながら実際に経路を歩いてみましょう

**家具の固定対策**  
倒れた家具でけがをしないよう対策しましょう

**耐震化対策**  
家が潰れなければ人命が守られる確率が高くなります

▶▶▶▶ 関連：P7 自助・共助・公助

### <緊急地震速報>

緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報です。  
ただし、発表から揺れが到達するまでの猶予は数秒から数十秒と極めて短いため、上に挙げる普段からの防災対策が重要です。

#### 緊急地震速報が確認できるのは

		
テレビ・ラジオ	携帯電話	村内有線放送

#### 緊急地震速報が流れたら地震発生直前の心構え

緊急地震速報が流れたら、ただちに身を守る行動をとります。

### 揺れを感じたら

#### まず第一に、身の安全の確保

頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる！



頭を保護し、窓や固定していない家具から離れる！



屋外では落下物に注意！



自動販売機やブロック塀から離れる！



### 揺れがおさまったら

#### あわてず、落ち着いて行動

あわてて外に飛び出さない！



協力して初期消火を行う！



学校内などでは出口に殺到しない！



車の運転中は緩やかに減速し、道路左側に寄せて停車する！



#### 身の安全を確保した後の行動

##### 家族の安否確認！



通信環境が不安定な状況では、災害用伝言ダイヤルやあらかじめ決めておいた家族の避難場所に行くなどして安否を確認しましょう。

▶▶▶▶ P26 災害用伝言ダイヤル 171

##### 靴・スリッパを履く！



けがをするとその後の避難行動に支障をきたします。割れたガラスなどでけがをしないよう、靴やスリッパを履きましょう。

### 応急的な対応

#### 協力して救出・救護活動！



がれきなどの下敷きになった人を発見したら、無理をせず周囲の人に応援を呼びかけて救助にあたりましょう。

#### 協力して応急手当！

災害時は救急隊の到着が遅れることがありますが、到着までに適切な処置を行うことで、生存率は大きく上がります。周囲の人の協力を得て人命救助にあってください。



#### 隣近所の安否確認！



一人暮らしの高齢者世帯・要配慮者のいる世帯などについて、無理のない範囲で安否確認に努めましょう。

#### 正しい情報を聞く！

ラジオや村役場、消防、警察などからの情報を確認し、周囲の人と情報共有をしましょう。また、情報の出所はしっかり確認するようにしましょう。



### 避難

#### ▶▶▶▶ P9 避難時の注意事項

#### 自宅の被害状況を確認

居住不可能

#### 避難所での避難生活

- ・避難所は共同生活の場です。ルールを守って助け合いながら生活しましょう。
- ・避難所では生活環境が変わることによる体調不良が起こりがちです。体調管理に注意しましょう。



居住可能

#### 自宅での避難生活

- ・ライフラインが停止している場合があります。備蓄品で対応できるよう日頃から準備しておきましょう。
- ・持病やアレルギーなど特別な配慮を必要とする方は、そのための備えを行いましょう。

